



現地校の新学期始まる！

7日に多くの現地校で新学期が始まりました。日本のような入学式はないようです。事前に説明会等があつて、当日は保護者の方が付き添っていくこともないと聞きました。初めてスクールバスに乗ったり、初めてづくしの新生生にとっては、さぞ大変だったことだろうと思います。また、送り出す保護者の皆さんも不安の中でのスタートだったのではないのでしょうか。特に日本から来たばかりで、初めての現地校通学となると分からないことや不安

も大きいものと思います。同じ補習校に通学する保護者の横の連絡を利用して、お子さんの現地校での生活を順調に立ち上げられるように助け合うことも必要だと感じます。子どもたちの抱えるストレス

もさぞ強いものと想像されます。それを支える保護者の負担も大きいものと思います。そんな時こそ、経験者の沢山いる補習校の横のつながりを利用して、不安解消に努めていただきたいと思います。始まったばかりですが、子どもたちの現地校での生活が充実したものになりますように、また、補習校での学習との両立がうまく軌道に乗りますようにお祈りいたします。



朝の集会後、教室に向かう子ども達 (LI)



6時間授業日の楽しいお弁当 (WTA)

楽しかった体験入学、第2弾

○すぐに仲の良い友達ができ、休み時間は学校探検やボール遊び、砂遊びなどをして楽しそうにしていた。困ったことがあると担任に話し、解決することもできた。やりたいことが優先してしまい、約束を守れないこともあったが、一つ一つ話をしていくと、いけないということがわかり、約束を守ろうとする姿が見られた。短い期間で残念ですが、一緒に過ごすことができ、とても楽しかったです。(初等部1年)

○1年生の10月まで在籍していた学校なので、幼稚園からの友人も沢山いて、すんなりクラスに入っていました。音楽でリコーダーをしたり、給食を食べたり、日本の学校生活を思い出したり、体験出来て、貴重な時間となりました。(初等部3年)

○元々昨年まで在籍していた学校、学級なので、お互い再会を喜んでおりました。(初等部6年)

○少人数ということもあり、お友達も喜んで優しくしていただきました。得意なサッカーで沢山友達ができしました。(初等部6年)

○毎日のように校庭開放に参加して友人達と楽しんでいました。一年前までの委員会の先生に給食の放送をさせてもらったり、最終日の文化祭のような行事にも参加出来たりと、普通の生活を送ることができた。みんなと別れを惜しみ、涙してきたようだ。(初等部6年)

応援練習も始まる

4・11日と6時間授業の午後の1時間を使って紅組と白組に別れて応援の練習が始まりました。



リーダーは初等部の6年生の子どもたちです。どちらも力が入ります。(WTA)

ニューヨーク日本人学校 開校35周年記念式典(2回)

がありました。ニューヨーク総領事館の西宮大使始め大勢の関係者がお祝いに集まりました。

